

## PFI 事業についての懇談会（PFI 問題について考える会） 会議録（要旨）

日 時：平成 29 年 12 月 28 日（木） 午後 6 時 30 分 ～ 午後 8 時 30 分

会 場：西尾市役所 5 階 53 会議室

出席者：中村市長、企画政策課 PFI 事業検証室 3 名

参加者：PFI 問題を考える会 23 名

1. 司会
2. 市長あいさつ
3. 要望書提出
4. 質疑応答

### 考える会

10 月 4 日から昨日まで集まった 6,600 通の PFI 事業見直しに対する要望書を提出します。市政に反映していただきたい。公共施設再配置の原点に立ち返っていただきたい。西尾市には財政問題がある。市民病院の赤字・合併交付金の減少・少子高齢化による負担増。公共施設等総合管理計画の収支計算上は財源が足りないと思われる。公共施設の大幅な見直しは避けられない。基本方針では「公共施設保有量を圧縮し新規施設は作らない。古いものから壊していく」であった。しかし PFI 事業計画では更新時期ではない吉良町公民館・一色支所・寺津小中プールなどまだ使えるものが解体の対象になってしまっている。財政負担を減らすための VFM（積算）がきちんと計算されていない。

今後取り組むべきこととして、再配置事業の意義・内容を住民に説明して合意を形成すること。公共施設の再配置優先順位を明確にして、使える施設は更新時期まで大事に使うこと。PFI やるかやらないかではなく市職員全体で財政負担軽減に取り組むべき。公共施設再配置は基本理念に立ち返り、財政負担に即しているか検証し、基本理念に反するものは認めないこと。

具体的提案として、一色市営住宅は論外。単身者に 2DK は不要。人口減少や法改正で民間借り上げ可能になったのに市営住宅は必要か。市営住宅の今後の方針の検証が必要。寺津小中学校プールはそのまま使用すべき。寺津小学校プールは新しい方から数えて 5 番目。使えるものを壊して作り直したら財政負担圧縮にならない。寺津中学校プールが使用不可になったら小学校プールを使えば良い。民間プール利用の場合は廃業リスクがある。

### PFI 事業検証室

市営住宅は長寿命化計画が策定されており、来年度見直し予定。民間借り上げも検討。学校プールについては、小学校プールを中学生が利用するには水深が浅いので難しいかもしれない。

### 考える会

西尾市の PFI は包括的なところが通常とは違う。個別のほうが良いと考えたが、過去の説明では「点と点ではなく、エリア全体のマネジメントが大切」と説明された。しかし給食センターも外れて、エリアマネジメントではないと思う。包括的にやって良いことがあるのか。西尾市の PFI は崩れているので

はないか。いったん白紙に戻して一つ一つ、行ったほうがよいのではないか。

### **PFI 事業検証室**

包括的のメリット・デメリットは検証中だが、メリットはトータルコストが下げられる。デメリットは部分変更が難しくなる。一部変更しただけで契約変更が必要になる。3月くらいまでには検証の報告をしたいと考えている。

### **考える会**

包括的という視点から 160 の施設の維持管理が入っていると思うが、これらの維持管理を PFI 事業でやることに意義があるのか。民間のノウハウを活かす高度なものならメリットはあるが、単純に中間業者が入るだけでは利益が中間搾取されるのではないか。

### **PFI 事業検証室**

一般的に考えれば、西尾市が SPC に、SPC が下請けに発注していく構図。西尾市方式 PFI はマネジメントのサービスプロバイダ方式で維持管理運営が中心。議会答弁にもあるように PFI 事業となっても維持管理業務は 8 割方同じ業者が作業している。間に業者が入れば単純に消費税分が余分に上乗せされる計算になる。その視点も検証したいと考えている。

### **考える会**

そもそも公共施設再配置で市としての優先順位などの市の構想はあったのか。何が問題なのか。今年度末までに何を決めようとしているのか。

### **PFI 事業検証室**

優先順位はなかったのではないかと思う。市がやりたいことをまとめて発注したような感想を持っている。現在は毎日弁護士とメール等で調整している。今は吉良支所棟を早く止めるよう協議中。口頭ではなく SPC は書面でなければ止められない。引渡し時期の変更などがある。

今年度末までには、PFI 事業の各事業について続行するのか止めるのか修正するのかを決めていきたい。今現在「市長と語る意見交換会」「市民アンケート」「懇談会」で出た意見の集約や、各施設の利用団体や要望書提出団体へのヒアリングを進めていきたいと考えている。

### **PFI 事業検証室**

市の内部でも事業内での優先順位を検討している。例えば寺津プールも本当に小中学校プールの統合が必要なのかどうかも含めて教育委員会と協議していく。各課が主体的に動かなくてはならない。今までは PFI 事業の主管課が中心になって全部お膳立てをして考えて、各課に指示を出していた。市営住宅のことや小中学校プールのこと、公民館のことなど、各課がしっかり優先順位を付けていかなくてはならない。そこも含めて新年からは各課にヒアリングを行っていく予定。

### 考える会

各課で優先順位を付けたらダメではないか。各課の意見を聞いて室が取りまとめて優先順位を付けてそこから各課に落とすべき。どこかが調整しないとダメ。

### PFI 事業検証室

今回の PFI 事業は市民の意見や担当の意見を細かく聞かずにやってしまったという反省点があるので。そこを見直す必要はある。

### 考える会

そもそもこの PFI 事業を止めるにはどうすれば良いのか。具体的な方法はあるのか。

### PFI 事業検証室

工事が止まってないのは吉良の支所棟だけ。吉良支所棟は雨風で品質管理が保証できるタイミングで止めるよう調整している。一色 3 館は市の指示で工事続行中。

### 市長

公共施設再配置基本計画が基本理念。さらに公共施設白書で公共施設の耐用年数等が明記されている。優先順位は担当課が選んだと思われる。もともとの PFI 事業の担当課は縦割りの弊害を打破して、一元的に公共施設再配置を検討しようという案は良かった。しかしそこに権限が集中しすぎたがために、各課の意見や市民の声が置き去りにされたと思う。「市長、早く結論を出せ」とよく言われるが、出せないわけではないが、考える会の資料の「今後やるべきこと」にもあるように、「公共施設の再配置には市民の納得・協力が不可欠」と書いてあるとおりで、時間がかかってしまうが、丁寧に市民の意見を聞くことのプロセスは重要だと思っている。それが 1 月の段階でアンケート結果や各種団体の意見等も出てくるので、意見を集約したものと市の考えを総合的に見て、遅くとも年度内には方針を出す。

### 考える会

ここまでモメてると SPC とは信頼関係がないと思う。一緒に仕事はできないと思う。契約を破棄することはできないのか。

### PFI 事業検証室

契約書上は市から解除の申し出をする解除条項がない。理由なく解除を申し出ことは難しいと弁護士は見解。契約書について、どう解釈して SPC とどう協議するか弁護団で議論している。3 月末には検証結果の中であわせて出せるかもしれないかと思う。

### 考える会

ここまで混迷している原因は何か。検証室の報告書の中に原因を記してもらいたい。ここまで行政経費を無駄遣いしているのだから、二度と起こさないためにも究極の原因を検証して欲しい。個人に責任がいつてしまうかもしれないがぜひ究明してほしい。過去の経緯を現在の担当者に聞いても当事者ではな

いので適切な回答が得られない。新市長に変わられて、事業見直しにおいて障害と感じているところがあるのか。今回の混迷の原因は議会にあると思う。当時議会で賛成した議員になぜ賛成したのか直接聞いてみたい。PFI 事業の内容を調べるほどおかしい。よくこの内容が議会を通ったなと驚いている。なぜ PFI 事業がここまで踏み外してしまったのかを検証・追求してもらいたい。

### 考える会

PFI 事業検証室は何をやる場所なのか。契約のご破算を念頭に置いてやっているのか。市長の指示はあるのか。市民はこの PFI 事業について興味があり勉強している。署名にも積極的にサインしてくれる。どうか市長には勇気を持って英断をしていただきたいと思う。

### PFI 事業検証室

検証室については PFI 事業がどのような経過、契約内容、問題があるのかを検証する。もう一つの計画担当は見直す場合の見直し案を計画するところになる。契約のご破算については最後の判断だと考える。まずは内容を検証して、あきらかに計画自体が続行不可能な場合は最後の判断をすることになると思う。

### 考える会

西尾市方式 PFI は本当に PFI なのか。多くの事業を 1 社に丸投げするために、不可能なものを可能にするために包括的と銘打って西尾市方式になったのではないかと考える。VFM の計算なども市がやった場合と、委託した場合の計算の検証がきちんとできていれば問題ないが、その検証が当初から欠落しているように見えるがどうか。

### PFI 事業検証室

現時点で公にできる検証結果はない。現在は検証結果の裏付け作業を行っている。VFM の算出方法はコンサルに対して弁護士から依頼を出している。内閣府にも赴いて PFI 事業について見解を聞く予定である。契約書の内容、協定書など結んでいった過程がどうだったのかなど、そのあたりの検証も進めている。最終的には弁護士のリーガルチェックを受けてから検証結果を発表したいと考える。

### 考える会

検証室は何人いるのか。人が足りないのではないのか。

### PFI 事業検証室

検証室全体では 9 名。

### 考える会

9 名で 190 億円の事業検証ができるのか。

### **PFI 事業検証室**

検証担当としては論点が明確にできる優秀な人材を集めた。

### **考える会**

検証室の権限はどこまであるのか。情報公開で黒塗りの資料が出てきたが、検証室なら黒塗り部分を強制的に開示することはできるのか。

### **PFI 事業検証室**

権限があるわけではないが、内部資料として黒塗りでない元の資料で検証を進めている。

### **市長**

検証については指示を出して行っている。調整がつかない点等は報告してもらって再度指示している。

### **考える会**

今日、PFI 事業の担当課の存在を知ってこの PFI 事業の問題点が見えた気がする。ただ市が本当にやりたいことがフィットネスジムや温水プールなのか。よく議会が調べもしないで PFI 事業に賛成したのか疑問。その議員を選んだ市民の責任もあるが。この状況になって当時の賛成議員が責任追求を逃れるために表に出てこないような気がしてならない。

### **PFI 事業検証室**

市が本当にやりたかったことについては、契約上は代替提案を入れても良いということなので、フィットネスや温水プールについては SPC 側からの提案を市が受け入れたということである。

### **市長**

推測するに、業者提案が出てきた段階で却下できない状況にあったと思う。応募業者が 1 社しかない段階で、提案を拒否できなかったと思う。PFI 事業を進めていく状況の中で、組織の中でも提案に対し異を唱えられる雰囲気ではなかったと思われる。

### **PFI 事業検証室**

議員さんのことは議員さんに聞かないと分からないところではあるが、現在、検証を進める中で議決というものが非常に重く感じている。内閣府の PFI 推進室に PFI について確認の電話などを行っているが、担当者が最終的に言うのは、可決され議会が承認しているのであれば良いのではないかと、ということである。

### **考える会**

PFI については、誰が考えてもおかしいことばかりである。証拠はないが、前市長が議員に対して賛成をするよう呼びかけていたようである。

### 考える会

議会に市民と話をするように申し入れをしている。議会事務局に書面をもっていったが、預からせて下さいと言われて返ってきた答えが、今は忙しいから議員の調整がつかないため受け取れない、4月になったら受け取るといったものであった。現在2版を出した。そこには、1月中にやって欲しいということが記載されている。それがどこまで引き受けられるか分からないが、一主婦でもここまでやっている。

### 考える会

市議会議員の勤務時間は決められているのか。なぜ忙しいのか。議会に出席をすれば良いのか。

### PFI 事業検証室

法律上は問題ないが、任務としては市民の皆様の意見を聞いて市政に反映していく。行政のやることに対して、勉強してダメなものは否決し、良いものは可決するということである。

### 考える会

図書館の設置管理条例の件について、PFI で今摩擦が起こっている SPC に維持管理をやらせることとして、なぜ提案されたか理解できない。

### 市長

SPC に任せる予定というのはあるが、12月の議案では、管理を SPC に任せるということではなく、管理を公が民間事業者に任せてよいかという議案であった。

### 考える会

3月議会で損害賠償の支払いが議会を通らなかった場合は、どうするのか。

### PFI 事業検証室

損害賠償については、まだまだ先の話で3月議会に出る予定は現在のところないが、今 SPC から3つの要望が出ている。1点目は、一色3館の改修費用の支払い方法、2点目は、吉良の支所棟の工事を中止した場合は出来高で支払ってもらえないかということ、3点目は止めることによりかかった費用（増加費用）の3点について支払いの協議を進めようとしている。特に1点目については、SPC が金融機関から融資を受けて、改修業者に支払いを行おうとしていたが、融資の条件が変わってきていて融資が受けにくくなっているため、一括して支払ってくれないかという申し出を受けている。

もし、3月議会で否決された場合は、市は支払いをすることができないので、契約書上でいう債務不履行になり、いつでも SPC から市に対して損害賠償をおこすことが出来る状態となる。

### 考える会

去年のいつだったか議会に SPC の維持組成費 5,665 万円が計上されたが、内訳すら無い。しかし残念ながら可決されてしまった。もっと議員に対してまともな論議をするように働きかける必要がある。

### 考える会

PFIについて「包括」という考えを否定するつもりはないが、包括をすることによってもっと事業を請け負う事業者が減らなっていた。それが減らないのは、包括をしすぎたことが原因だと思う。専門性がある事業者がまとめて引き受けるという包括ではなくて、多くの事業を全部一つにまとめてしまった包括なので、似たような業者に任せの方が良かったのではないかな。もっと多角的に見て、費用を削減していただきたい。

### 市長

ケースバイケースで考え、PFIの手法でもいいことは取り入れていけばいいと思う。

### 考える会

契約を解除していただきたい。構造的な問題は破棄しないとできない。構造的な欠陥に気づいていただきたい。構造的な欠陥とは、下請けいじめの件があり、末端の事業者は非常に安い値段でやらなくてはならなくなっている。逆に市は高い金銭を支払わなければならない。中間がピンハネしている。これが構造的欠陥である。次に1者のみということで競争原理が働いていないことが問題。1者だけでは民間の知恵が生きてこない。次に市は管理をする意志がない。SPCに任せればうまくいくと錯覚しているところが、本末転倒である。契約には必ず上下がある。発注者と受注者が対等というのはいない。そういうことを頭に入れて検証していただきたい。

### PFI 事業検証室

解約ということは難しいが、今言われたことは十分留意して検証を進めていきたい。

### 考える会

PFI事業の担当課とSPCが一体となって進めてしまった。業務要求水準をコンサルに丸投げで作らせ、検証もせずに鵜呑みにして業者の募集をかけた。PFI事業の担当課はなんだったのか。存在することに理解が苦しい。同じ職員であろうとも厳しく検証し、表に出し、反省を促したい。議会に対しても知らなくて賛成したのかと。癒着が明らかになれば契約破棄となり得る。早いところPFI事業の担当課を解体して欲しい。

### PFI 事業検証室

公務員というのは、手続きを重んじる。法令に照らし合わせて間違いがないかを積み上げていくということをしてきている。今までどおりの再配置はしていかなければならない。市長もPFIの手法を否定しているわけではない。契約までの経緯について、検証をさせていただいている。

### 考える会

開かれた市役所にするために情報を出してきたらどうか。

**PFI 事業検証室**

検証している内容について、現在裏付けをとっているところなので、然るべき時が来たら公表していく考えではある。

**考える会**

契約案件が議会を通らなかったら SPG に今までかかった費用を支払うという契約があったのは本当か。応募費用がかさむことにより、応募を断念した企業もあるのではないか。

**PFI 事業検証室**

本当である。平成 29 年 3 月 30 日に市と SPG の間で覚書を交わしている。今回の PFI 契約について、長期契約で 1 者に委託したのは問題があるかもしれない。決まっていく事業の過程の中で、市民の声が反映されずにフィットネス、温水プールなど企業が収益を上げることができる事業に反対の意見が多い。

**考える会**

議会はそのことを知らないと思う。勝手に 1 社に優遇していたとすれば背任行為だと思う。このようなことはやめてもらいたい。

**考える会**

今やっている凍結に対して、予算が得られなかったということが万一発生した場合でも、市長ご自身は、ご自分の掲げた公約を腹にすえて、裁判になってでもやるのかという強い意思をもって見えるのか。

**市長**

裁判において決着するという可能性は否定できないので、絶対裁判に持ち込まないということは考えていないが、できれば話合いで解決したいと考えている。今は、まずは議会を通すために全力で頑張るといっているところである。

**考える会**

裁判になったとしても頑張ってもらいたい。

**市長**

強い決意をもって臨む。

(懇談会終了)